は、「ばかにされたあげく」「苦労のあげく」「詐欺に遭い、あげくに倒産した」のように「〜たあげく」「〜のあげく」「あげくに」の形で使われる。否定的な意味を持つ。

《**表記**》「挙げ句の果てに」「あげくの果てに」と書くことが多い。

《**会話例**》

A: 会社は倒産するわ、女房には逃げられるわ、挙げ句の果てに今度は入院だなんて、もう落ちるところまで落ちたって感じだよ。

B: まあ、それ以上は落ちないんだから、気楽に考えたら？

あけっぴろげ【開けっ広げ・明けっ広げ】 自分の考えや個人的なことなどを何でも隠さずに話す。隠し事をしない。

《**使い方**》開けっぴろげな(人、態度、性格)、開けっぴろげに(言う、話す、行う)

《**解説**》「あけひろげ」が音変化した形である。元々は「開けっ放し」のくだけた言い方で、「窓をあけっぴろげにする」のように、ドアや窓などを完全に開けたままにしている様子を表した。ここから、あまり触れられたくないような個人的なことでさえも隠したりしない性格、隠し事のない言動、開放的な組織や集団の様子を表す場合に使用される。類似表現に「*裏表がない」「オープンな」「*ざっくばらん」がある。

《**表記**》「あけっぴろげ」と書くことが多い。

《**会話例**》

A: 千尋、合コンで過去の男性遍歴まで披露しちゃったんだって？ そこまで開けっぴろげだと、男の人が*引くよ。

B: そうかな？ 別に隠すことなんて何にもないと思うけど。

あこぎな【阿漕な】 恥ずかしげもなくあつかましい。金銭的に貪欲な。

《**使い方**》阿漕な(商売、野郎、やり方)、阿漕な(こと、まね)をする

《**解説**》かつて伊勢神宮に供える魚を獲るために禁漁区だった三重県津市の「阿漕ヶ浦」で密漁を繰り返して捕まった漁夫の逸話が語源だと言われ、*ずうずうしい行動を際限なく続ける様子に使用される。金銭が絡む文脈で使われることが多く、非倫理的と思われる手段を取ってでもしつこく自分の利益を追求する態度を表す場合に用いられる。

《**表記**》「あこぎな」と書くことが多いが、「アコギな」と書くこともある。

《**会話例**》

A: あのアイドルグループの新作 CD を買うと、中に握手券が 1 枚入っていて、メンバーの一人と 1 回握手ができるんだって。

B: 熱狂的なファンは何枚でもCDを買うそうだよ。アコギな商売だよなあ。

あごでつかう【顎で使う】 *威張った態度で自分の好きなように人を使う。

《使い方》(部下、後輩)をあごで使う

《解説》言葉を使って人に指図する代わりに、あごで「あっちだ」「こっちだ」と方向を示して命令することは、非常に高慢で*無礼な態度と見なされる。このように、相手を見下した態度で、相手が従うのが当然であるかのように自分の意のままに動かすことを表す。よって、「子どもが親をあごで使う」のように、目下の目上に対する行為にはほとんど使われない。類似表現に「こき使う」「手足として使う」がある。

《表記》「あごで使う」と書くことが多い。

《会話例》

A: なんで後から入って来た奴に、あごで使われなきゃならないんだ。

B: 仕方ないよ。奴は取引先の社長の息子なんだから。

あざとい【小聡明い】 *ずるい。計算した賢さがある。

《使い方》あざとい(笑顔、商売、女)、(笑顔、態度)があざとい

《解説》賢く巧みな行動をしているようで、思慮の浅さが垣間見える場合に使用される。何らかの行動で自らの賢さ、美しさ、高潔さなどを伝えようとして、それが十分でないことを露呈してしまっている様子を表す。元々否定的な意味で使われるが、近年、インターネットやメディアでは、かわいらしさを演出して*気を引こうとしている様子などにも多く使われる。

《表記》「あざとい」と書くことが多い。

《会話例》

A: 最近、よくテレビに出てる美咲サクラ、*いまどき珍しいくらいの*ぶりっ子だよね。*舌っ足らずな話し方で、上目遣いに「わかんな〜い」って言うとことか、ちょっとあざとすぎない?

B: うん、確かにあざとい。でも、そこがまたカワイイかも。

あさめしまえ【朝飯前】 非常に簡単にできる。

《使い方》朝飯前だ、朝飯前の(こと、仕事)

《解説》朝食を食べる前は、お腹が空いているし、時間もあまりないので、大したことはできない。そんな時でさえもできるくらいの非常に簡単なこと、という意味である。類似表現に「*楽勝」「*お茶の子さいさい」「*お安い御用」がある。

《会話例》

A: この町工場、ある機械部品のシェアで、世界一なんですよ。

B: へえ。つまり、技あり企業ってことですね。

わざとらしい【態とらしい】 本当ではないようだ。

《使い方》(笑顔、話し方)がわざとらしい、わざとらしい(態度、振る舞い)

《解説》「わざと」は「故意に」「真実ではない」「本当ではない」様子を言い、「彼はわざと試合に負けた」のように使用される。それに「〜ようだ」という意味の「らしい」が付くと「本当ではないようだ」「故意にしているようで不自然だ」という意味になる。否定的な意味を込めて使われる。

《表記》「わざとらしい」と書くことが多い。

《会話例》

A: 女優の石田真奈って、*なんか好きになれないんだよね。

B: 私も。あのわざとらしい笑顔とわざとらしいしぐさ。*媚び売ってるみたいでいや。

わしづかみにする【鷲掴みにする】 ① 手のひらを大きく開いて荒々しく物や体の一部をつかむ。② 人の心を奪う。

《使い方》(現金、ボール、女性の心、ハート)をわしづかみにする

《解説》① 鷲が獲物をつかむ時のように、乱暴に力強く物や体の一部をつかみ取る動作に使用される。手を大きく開いて*勢いよく取る様子に使われる。② 人の心を強くとらえる、*とりこにするという意味で使用される。激しくつかんで離さないという含みがある。

《表記》「わしづかみにする」と書くことが多い。

《会話例》

A: 消費者の心を②わしづかみにするような商品名にしたいですね。

B: 斬新で、*インパクトの強いものがいいと思います。

わしわし *勢いよく、たくさん。

《使い方》わしわし(と)(食べる、働く、する)

《解説》大量に、勢いよく物事を進める場合に使用される。「食べる」と一緒に使われることが多く、おいしいものを前にして、または空腹で我慢できず、勢いよく、口に運んだり頬ばったりする様子を表す。若い世代がくだけた場面で使用する。類似表現に「*がつがつ」「もりもり」がある。

《表記》「ワシワシ」と書くこともある。